

スライドファスナJIS改正について



2019年1月21日に『JIS S 3015 スライドファスナ』基準が改正されました。日本でも、より安全性を考慮した子供服の流通と欧米との貿易障壁の回避を目的とし、新たに「**開製品片側ストリング上止部縦引強度試験**」が追加されました。

改正点

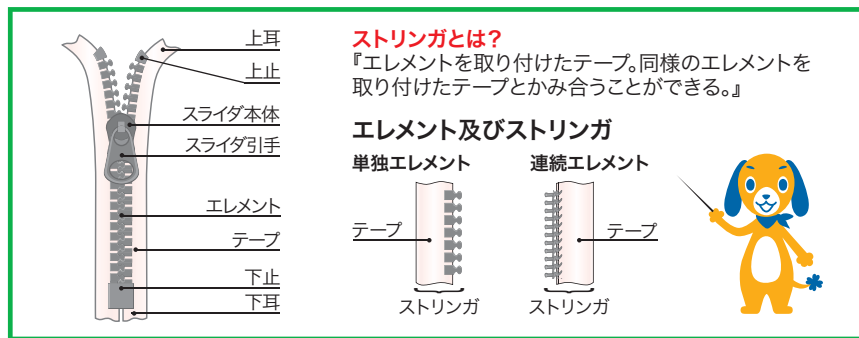
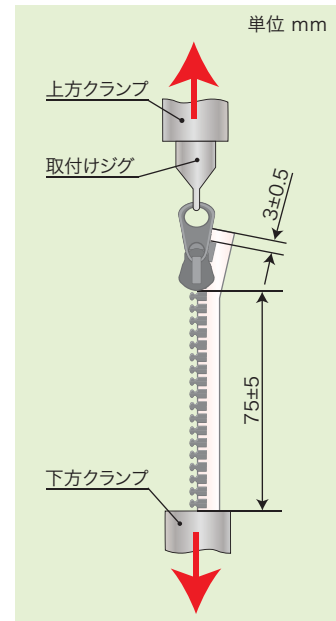
開製品片側ストリング上止部縦引強度試験

●新たに試験項目が追加!

試験方法

引張試験機にファスナを固定し、スライダが抜ける、上止がずれる又は外れるまで負荷を加え続け、抜け、ずれ又は外れが発生したときの最大荷重を測定する。このとき、スライダロック機構は動かないようにする。

適用範囲: 乳幼児(6歳未満)用アイテム向け[任意]



その他の改正点

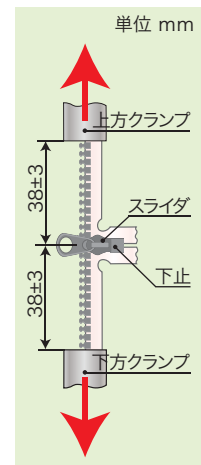
上記以外にも、**下止部引裂強度試験、スライダ引手ねじり強度試験、上止部縦引強度試験、めっき耐食性試験、塗装の耐ドライ試験、しゅう動抵抗力試験、寸法測定方法**に改正、変更箇所があります。

下止部引裂強度試験

●単独エレメントに「補強された化繊テープの場合」の基準値が追加!

区分			引裂強度					
エレメント/テープ			UL級	L級	M級	MH級	H級	UH級
単独	化繊	金属製スライダ	15	40	50	80	100	150
		樹脂製スライダ	15	30	40	60	100	150
	補強された化繊	金属製スライダ	15	40	50	80	100	150
		樹脂製スライダ	-	-	-	-	-	-
	化繊以外	金属製スライダ	15	30	50	80	100	150
		樹脂製スライダ	15	30	40	60	100	150
連続	全て	金属製スライダ	30	50	70	120	150	-
		樹脂製スライダ	20	30	60	90	120	-

単位 N

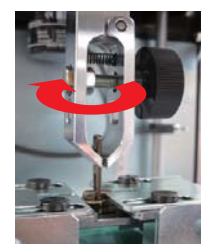


スライダ引手ねじり強度試験

●単位が「N・cm」から「N・m」に変更!

区分	ねじり強度					
	UL級	L級	M級	MH級	H級	UH級
金属製スライダ	0.15	0.15	0.45	0.7	0.7	-
樹脂製スライダ	0.1	0.1	0.35	0.45	0.6	-

単位 N・m

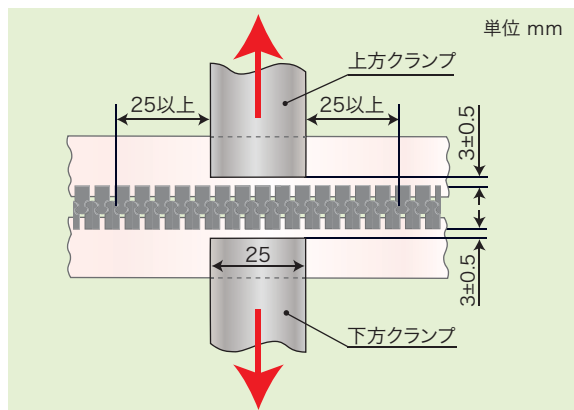


その他試験可能な項目の紹介

チェーン横引強度試験

試験方法

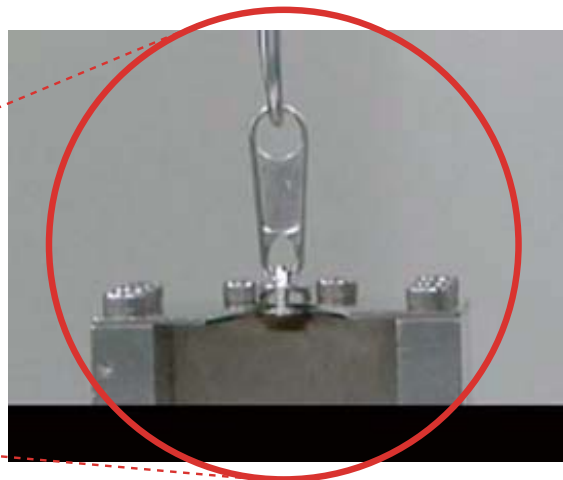
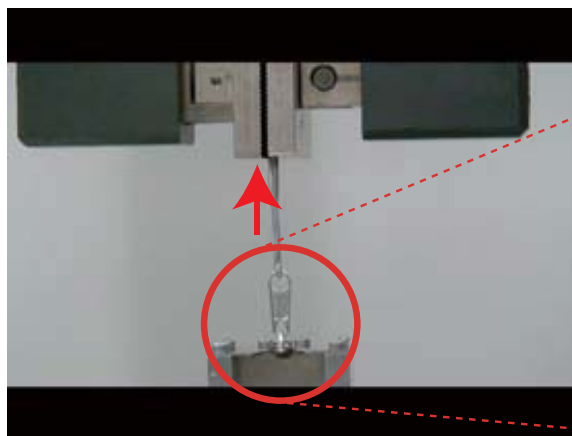
ファスナを閉じた状態で、ファスナが開く方向に毎分300mmの速度で引っ張り、テープ又はエレメントのかみ合い部が破損するまでの最大荷重を測定する。



スライダ総合強度試験

試験方法

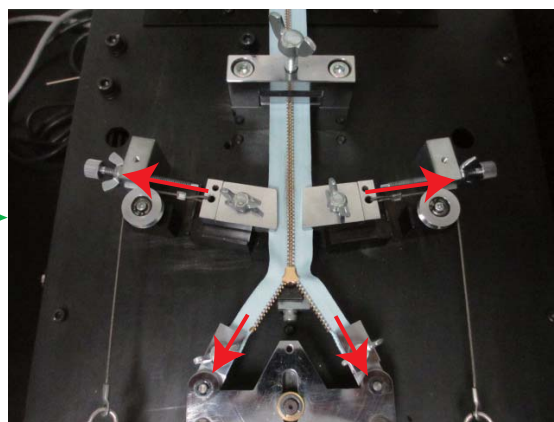
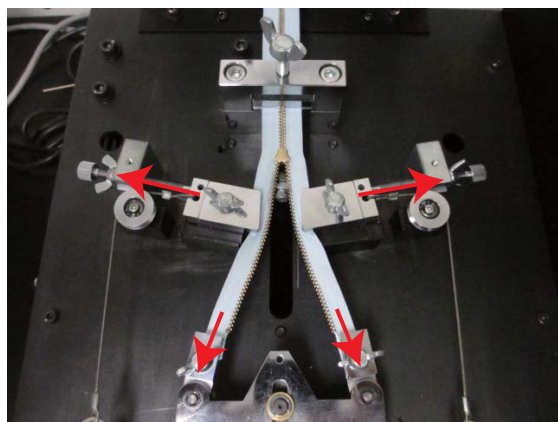
スライダ引手とスライダ本体が直角になるように固定し、スライダ引手を毎分100mmの速度で引っ張る。スライダ引手が外れるかスライダが破損するまでの最大荷重を測定する。



往復開閉耐久試験

試験方法

ファスナを縦・横方向に規定の負荷で引っ張った状態で固定し、毎分30往復の速度で500回作動させ、異常がないかを確認する。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪事業所 生活用品試験センター

TEL:06-6577-0124 / FAX:06-6577-0126

東京事業所 生活用品試験センター

TEL:03-5669-1382 / FAX:03-5669-1387